

## 未来へ向けた“魅力ある”まちをめざして

### 1. はじめに

佐野市は、東京中心部から70km圏内に位置し、栃木県の南の玄関口にあたります。地形的には、北部は森林や清流など自然環境に恵まれた中山間地域、南部は住宅や産業基盤が集積する都市的地域と農業が展開する地域となっています。また、東北自動車道及び北関東自動車道が通り、3つのICを有し、4つ目のICの整備も進行中です。その立地条件の良さから、高速交通の要衝としてさらなる発展が期待されています。

### 2. 持続可能な都市の形成に向けて

#### 1) コンパクトシティ構想

多くの地方都市と同様、本市においても、人口減少、少子高齢化等の社会情勢の変化によって、生活サービスの利便性の低下、さらにはインフラの維持管理・更新費用の増加等、様々な課題が深刻化することが懸念されています。そのような中、今後も持続可能な都市経営を実現するため、「佐野市コンパクトシティ構想」を策定し、都市機能や居住機能を拠点等へ集約を図るとともに、公共交通ネットワークで各拠点を結ぶ集約型のまちづくりを推進することとしました。

#### 2) 目指す都市像

構想では、地域の特性を踏まえ都市機能が集積する市街地を拠点とし、生活環境を維持すべきエリアを生活ゾーンと集落ゾーンに位置付けていま

す。そして、この拠点間、拠点・ゾーン間を公共交通を軸としたネットワークで結ぶことで、「コンパクト・プラス・ネットワーク」を実現し市民の利便性を確保していきたいと考えています。

また、このようなまちづくりを進めることで、地域コミュニティの活性化、まちなかの賑わい創出、市街地の空洞化対策、都市経営の効率化、災害に強い都市機能の構築などが期待され、将来にわたり地域の誰もが安心して暮らすことができる持続可能な都市経営を実現しなくてはならないと考えています。

#### 3) コンパクトシティの実現に向けて

今後、ますます厳しくなる財政状況下においても、地方都市として活力を失わず成長し続ける事が重要です。地域の現状と今後を見据えながら「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりを推進し、地

域内におけるコミュニティの維持を図るとともに、地域間の「人・もの・情報」の交流を活発化させ、しごとの創出や産業の活性化などから地域の価値を高めていきたいと思えます。

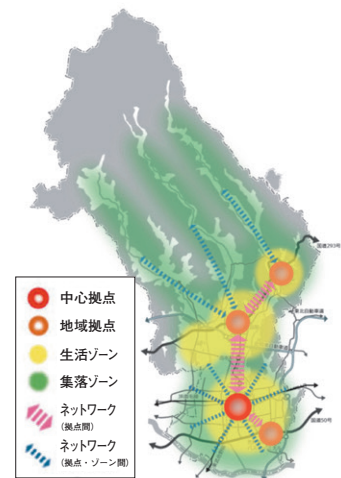


図-1 コンパクト・プラス・ネットワークの骨格



佐野市長 **おか べ まさ ひで**  
**岡 部 正 英**

### 3. 活気ある都市の形成に向けて

#### 1) 国道50号沿線開発構想

国道50号は、本市の南部地域を横断し、東北自動車道と佐野藤岡ICで連結している広域幹線道路であり、本路線沿いには工業団地や大型商業施設が立地するなど、本市の産業振興において重要な役割を果たしています。その交通利便性の高さから企業立地に関する問い合わせも多くありますが、大部分は市街化調整区域、かつ農業振興地域となっており、農業目的以外の新たな土地利用を図るには一定の制約があります。そこで本構想では、農業政策との調和を図りつつ、国道50号の立地特性を活かした新たな土地利用の転換を推進し、雇用拡大に資する産業用地の開発や、6次産業化に併せた農業の観光分野との連携など、新たな沿線開発の方向性を示しています。

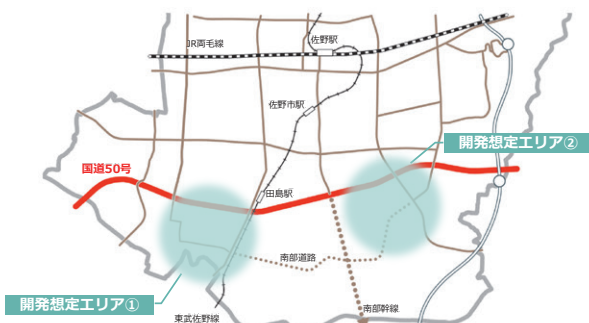


図-2 開発想定エリア

また、国道50号沿線の開発に合わせ、幹線道路の整備に伴う新橋の建設と、これにかかる広域

的な道路交通網が整備されることにより、行政区域を超えた広域的な交流・連携が図られ、本市を含めた周辺地域の一層の飛躍発展が見込まれます。

#### 2) 開発の推進に向けて

国道50号の沿線開発を具現化していく一つの方策として、「R50沿線開発構想具現化プロジェクトチーム」を発足しました。プロジェクトにおいては、既成概念にとらわれることのない、自由な発想を基に検討していきたいと考え、構成は、40歳以下の若手職員としています。

今後、プロジェクトチームからの提案なども活用しながら、国道50号沿線開発を素晴らしいものにしていきたいと考えています。

### 4. おわりに

佐野市は昨年10月の令和元年東日本台風により、市内を縦断する一級河川秋山川の決壊を始め、河川の氾濫・土砂崩れ等、各所に甚大な被害を受けました。被災直後から国や県、自衛隊、関係自治体等の人的支援、各地からの支援物資、また、多数のボランティア活動など、皆様の多大なる支援が私たちの大きな力となりました。改めて全国の皆様に支えられていることを実感するとともに、関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

現在、まだまだ道半ばですが、佐野市一丸となって復興へ向けて着実に進んでおります。災害に負けず復興していく“元気な佐野市”へぜひ足を運んでみてください。